

2020年12月5日

中間市中央公民館クリスマスリース講座

12月5日中間市中央公民館で親子、市民を対象としたクリスマスリース作りを開催しました。当初、親子20組、市民20人を想定し、クリスマスリース講座の参加者を募ったところ、親子の申し込みが41組89人に及びました。中間市としては、当初、抽選を考えていましたが、予想を上回る親子の申し込みがあったので、本講座を3回に分け、1回の行事も4教室でおこなうなどのコロナ対策で万全を期すとの連絡を受け、当会も積極的に支援することにしました。

まずはリースの土台となる大量の輪っか作り、急きょ、カズラ採取の支援を会員に求め、関の山（飯塚市）と下稗田の森（行橋市）で大量にカズラを刈り取りました。その後、カズラが硬くならないうちに85個を作成し、準備を整えて本番を迎えました。



輪っか

最初のあいさつ、リースの作り方などは、講堂で参加者を分散し、コロナ対策を万全にして行いました。まず、親子のリース作りでは一家族一テーブルで行ったので、親子のコミュニケーションも良く、



講堂でのあいさつ

小聲で静かに創作していました。中には子どもの指導を忘れて自分のリースに没頭する親も見られました。感想を訪ねると「楽しかった」、「来年もあるの」、「ドングリの種類の多さにびっくり」などの声が聞こえました。市民対象のリース作りでは、昨年度を経験していた人もいて、持参した自分の好きな飾りを取り付けたり、サルトリイバラの枯れ葉や虫が



親子の作品作り

食べた穴あきの枯れ葉を誇らしげに飾り付け、参加者の人たちに各々の作品を見てもらったりするなど、和やかな雰囲気の中で作品作りが進みました。



市民の作品作り



親子の作品

最後の市民対象の行事が終了すると、「来年もあいましょう」と手を振りながら会場を去る参加者を見送りました。その後、私たちスタッフも後片付けと今日の反省をして家路につきました。

（スタッフ：手嶋、田川、野見山、高田、中村）